



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ
コード番号 9997

上場取引所

東

URL <https://www.belluna.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	158,647	1.5	7,341	28.2	8,706	25.6	5,354	5.4
2024年3月期第3四半期	156,278	△2.6	5,725	△27.3	6,930	△21.6	5,081	△5.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 6,067百万円(△28.3%) 2024年3月期第3四半期 8,528百万円(39.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	55	50	—	—
2024年3月期第3四半期	52	55	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	320,966	—	139,453	—	43.2	—
2024年3月期	300,691	—	136,182	—	45.0	—

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 138,553百万円 2024年3月期 135,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円	円	円	円	円
2025年3月期	—	10.25	—	10.25	20.50
2025年3月期(予想)	—	14.50	—	14.50	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	217,000	4.2	11,500	17.5	12,500	5.6	8,000	37.0	82	82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	97,244,472株	2024年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,017,035株	2024年3月期	545,429株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	96,471,063株	2024年3月期3Q	96,694,426株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復傾向で推移しました。一方で原材料・資源価格の高止まりや人件費の高騰、天候不順などにより物価上昇圧力が強い状態が続くなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループは今期より8つのセグメントを今後の成長性・収益性の拡大を担う「グロース領域」と、安定した収益性・継続性・社会性を主眼においた「サステナブル領域」の2つにグループングをし、それぞれに適した経営資源の配分、事業展開を図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は158,647百万円（前年同期比1.5%増）となり、営業利益は7,341百万円（同28.2%増）、経常利益は8,706百万円（同25.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は5,354百万円（同5.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、(株)エルドラドにて行っている飲食店事業・ゴルフ場運営事業について、報告セグメントを「その他の事業」から「プロパティ事業」に区分を変更しております。以下の前期比較につきましては、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔プロパティ事業〕

国内ホテル事業においては、インバウンド需要や国内旅行需要が増加したことなどにより増収増益となりました。国内リゾート型ホテルにおいては、北海道エリアや京都のホテルを中心にインバウンド需要が増加したことにより稼働率や客室単価が上昇し増収増益となりました。その他エリアのホテルも総じて堅調に推移しました。国内都市型ホテルにおいては、運営しているすべてのホテルが増収増益となり、特に札幌エリアや銀座のホテルはインバウンド需要が増加したことにより客室単価が大幅に上昇しました。海外ホテル事業においては、スリランカの首都コロンボにある大型ホテルは増収増益、その他のホテルは前年同期並みで推移しました。この結果、売上高は26,351百万円（同16.7%増）となり、セグメント利益は4,141百万円（同68.2%増）となりました。

〔化粧品健康食品事業〕

化粧品通販事業においては、新規顧客の獲得数は前年同期と比べ好調に推移しました。一方で、新規購入者の定期コースの継続率が伸び悩み定期コースの売上が前年同期と比べ減少したことなどにより減収減益となりました。健康食品通販事業においては、定期購入顧客数が減少したものの収益性を重視した広告展開を行ったことなどにより減収増益となりました。この結果、売上高は10,045百万円（同9.0%減）となり、セグメント利益は144百万円（同78.6%減）となりました。

〔グルメ事業〕

グルメ通販事業においては、サービスレベル向上のためにシステムを刷新したことにより電算費が上昇しました。一方で、媒体発行数等の広告宣伝費の見直しや商品価格の見直しなどによる出荷単価の上昇により売上に対する経費比率が改善したため減収増益となりました。この結果、売上高は25,218百万円（同0.2%減）となり、セグメント利益は1,104百万円（同5.8%増）となりました。

〔ナース関連事業〕

看護師向け通販事業においては、円安の進行や原材料・資材の高止まりを受け仕入原価が上昇したため、収益性を重視し一部販売経路において商品価格の見直しや媒体発行数の抑制を図りましたが減収減益となりました。この結果、売上高は9,504百万円（同3.0%減）となり、セグメント利益は344百万円（同23.4%減）となりました。

〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、不採算店舗の閉店による売上の減少や稼働顧客数の減少、既存店舗における新規顧客の獲得数が計画未達であったことなどにより減収減益となりました。衣裳レンタル事業においては、同業他社の撤退により卒業式袴レンタルの受注が大幅に増加し、それに伴う経費が増加したことなどにより増収減益となりました。この結果、売上高は14,169百万円（同3.7%減）となり、セグメント損失は1,055百万円（前年同期は749百万円のセグメント損失）となりました。

〔アパレル・雑貨事業〕

アパレル・雑貨通販事業においては、円安の進行や原材料・資材価格の高止まりを受け仕入原価が上昇したため、収益性を重視し広告宣伝費の抑制を図りました。長引く残暑の影響により秋冬シーズンの序盤においては計画を大きく下回ったものの中盤以降においてレスポンス率の改善が図れました。また、新規顧客の獲得数が前年同期と比べ増加したことなどにより増収増益となりました。この結果、売上高は59,280百万円（同0.7%増）となり、セグメント損失は942万円（前年同期は1,539百万円のセグメント損失）となりました。

〔その他の事業〕

アパレル卸売事業においては、クライアント各社の展開縮小が継続していることや在庫処分を前倒して行ったことなどにより減収減益となりました。旅行代理店事業においては、成長性を優先し積極的に広告宣伝を行ったことなどにより増収減益となりました。この結果、売上高は2,243百万円（同4.3%増）となり、セグメント損失は302百万円（前年同期は200百万円のセグメント損失）となりました。

〔データベース活用事業〕

封入・同送サービス事業においては、アパレル・雑貨通販事業における媒体発行数が減少したものの既存クライアントへの営業強化が功を奏したことなどにより増収増益となりました。フルフィルメント受託サービス事業においては、新規クライアントの獲得は順調であったものの既存クライアントの売上減少や人件費等の上昇などにより減収減益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客が前年同期と比べ効率的に獲得できたことにより貸付残高が堅調に推移したため増収増益となりました。この結果、売上高は12,822百万円（同3.1%増）となり、セグメント利益は3,939百万円（同3.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比6,338百万円増加し、136,299百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,184百万円、仕掛販売用不動産が1,684百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が5,358百万円、営業貸付金が1,572百万円、販売用不動産が2,019百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比13,934百万円増加し、184,664百万円となりました。これは主に建物および構築物が1,502百万円、建設仮勘定が10,255百万円のれんが1,721百万円百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比20,274百万円増加し、320,966百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比12,402百万円増加し、71,608百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が5,010百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が3,443百万円、契約負債が3,014百万円、短期借入金が11,863百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比4,598百万円増加し、109,901百万円となりました。これは主に、長期借入金が4,955百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比17,003百万円増加し、181,512百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比3,274百万円増加し、139,453百万円となりました。この結果、自己資本比率は43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2024年5月13日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,842	33,658
受取手形及び売掛金	10,570	15,928
営業貸付金	31,750	33,322
有価証券	695	329
商品及び製品	26,097	28,724
原材料及び貯蔵品	1,487	1,304
販売用不動産	5,129	7,148
仕掛販売用不動産	3,205	1,520
その他	16,076	15,304
貸倒引当金	△892	△940
流動資産合計	129,961	136,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	65,470	66,973
機械装置及び運搬具（純額）	8,145	7,519
工具、器具及び備品（純額）	1,954	1,845
土地	46,739	47,457
リース資産（純額）	1,993	1,756
建設仮勘定	12,605	22,860
有形固定資産合計	136,909	148,413
無形固定資産		
のれん	1,044	2,766
リース資産	799	614
その他	9,049	8,972
無形固定資産合計	10,893	12,352
投資その他の資産		
投資有価証券	14,614	15,489
長期貸付金	1,998	2,071
破産更生債権等	211	213
繰延税金資産	598	855
その他	6,209	5,994
貸倒引当金	△705	△726
投資その他の資産合計	22,927	23,898
固定資産合計	170,730	184,664
資産合計	300,691	320,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,934	14,377
電子記録債務	5,682	4,741
短期借入金	13,090	24,954
1年内償還予定の社債	5,015	5
未払費用	14,631	15,334
リース債務	489	459
未払法人税等	2,210	1,707
契約負債	3,557	6,572
賞与引当金	1,058	519
製品保証引当金	-	27
その他	2,536	2,910
流動負債合計	59,206	71,608
固定負債		
社債	5	-
長期借入金	98,563	103,519
利息返還損失引当金	335	249
リース債務	2,387	2,079
退職給付に係る負債	331	269
役員退職慰労引当金	249	249
資産除去債務	1,076	1,079
修繕引当金	117	140
その他	2,236	2,316
固定負債合計	105,302	109,901
負債合計	164,509	181,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,950	10,950
利益剰余金	112,545	115,513
自己株式	△455	△794
株主資本合計	133,652	136,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,028	2,834
繰延ヘッジ損益	496	285
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△1,979	△883
退職給付に係る調整累計額	1	22
その他の包括利益累計額合計	1,539	2,252
非支配株主持分	990	919
純資産合計	136,182	139,453
負債純資産合計	300,691	320,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	156,278	158,647
売上原価	62,436	62,690
売上総利益	93,842	95,956
販売費及び一般管理費	88,116	88,615
営業利益	5,725	7,341
営業外収益		
受取利息	155	253
受取配当金	369	472
為替差益	928	1,044
助成金収入	41	5
その他	467	445
営業外収益合計	1,962	2,221
営業外費用		
支払利息	360	523
支払手数料	185	86
減価償却費	17	17
店舗閉鎖損失	85	98
その他	108	130
営業外費用合計	757	855
経常利益	6,930	8,706
特別利益		
固定資産売却益	2	6
投資有価証券売却益	655	141
投資有価証券償還益	7	0
特別利益合計	665	148
特別損失		
固定資産除却損	10	32
減損損失	6	36
投資有価証券評価損	0	223
和解金	-	14
その他	-	139
特別損失合計	17	445
税金等調整前四半期純利益	7,578	8,409
法人税、住民税及び事業税	2,262	3,096
法人税等調整額	211	△59
法人税等合計	2,474	3,037
四半期純利益	5,104	5,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,081	5,354

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	5,104	5,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	922	△193
繰延ヘッジ損益	212	△210
為替換算調整勘定	2,319	1,127
退職給付に係る調整額	△30	20
その他の包括利益合計	3,423	744
四半期包括利益	8,528	6,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,458	6,067
非支配株主に係る四半期包括利益	70	48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	グロス領域				サステナブル領域			データベース活用事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	呉服関連事 業	アパレル ・雑貨 事業	その他の事 業			
売上高										
外部顧客への売上高	22,518	11,037	25,037	9,800	14,645	58,742	2,100	12,396	—	156,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64	1	237	0	70	102	49	38	△563	—
計	22,582	11,038	25,274	9,800	14,716	58,844	2,150	12,434	△563	156,278
セグメント利益(又はセ グメント損失△)	2,461	678	1,044	449	△749	△1,539	△200	3,793	△212	5,725

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳210百万円とのれん償却費△422百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	グロス領域				サステナブル領域			データベース活用事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロパティ 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	呉服関連事 業	アパレル ・雑貨 事業	その他の事 業			
売上高										
外部顧客への売上高	25,953	10,044	24,908	9,504	14,101	59,140	2,199	12,794	—	158,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	397	1	310	—	67	139	43	27	△987	—
計	26,351	10,045	25,218	9,504	14,169	59,280	2,243	12,822	△987	158,647
セグメント利益(又はセ グメント損失△)	4,141	144	1,104	344	△1,055	△942	△302	3,939	△33	7,341

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳215百万円とのれん償却費△249百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内の経営管理区分の一部変更として、(株)エルドラドにて行っている飲食店事業・ゴルフ場運営事業について、報告セグメントを「その他の事業」から「プロパティ事業」に区分を変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	3,976百万円	4,453百万円
のれんの償却額	422	249